

(別紙様式)

令和6年度学校評価の実施状況等調査

学校名	沖縄県立宮古高等学校
記載者名	教頭・遠藤 美紀夫

1 自己評価を実施した人数

	校 長	教 頭	事務長	教 諭	事 務	その他	計
実施人数	1	1	1	40	5	0	48

※その他 ()

2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員	その他				計
実施人数	3	0	0				3

※その他 ()

3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	82	184	0				266

※その他 ()

4 学校評価結果の公表方法等(該当項目に○、複数回答可)

自己評価	①ホームペー	②学校便り	③保護者への説明会	④その他()
学校関係者評価	①ホームペー	②学校便り	③保護者への説明会	④その他()

5 令和5年度の学校評価を踏まえ、令和6年度改善した点 (いじめ問題に関すること等)

①進路指導の充実、教育相談体制の充実
②授業改善、各種研修会への参加・授業公開・互見授業の増加
③行事等の活性化、探究活動の継続進化発展、学校生活充実度の増加
④環境・清掃について、生徒の清掃への意識向上
⑤進路情報の提供や進路実現に向けた支援の改善、保護者の満足度の向上

6 令和6年度の学校評価で明らかになった課題

①「学校からの便りが届く」との評価のやや低下、情報共有、情報伝達手段の確立
②予習復習、家庭学習の習慣化
③いじめの対応における「対応」から「未然防止」への重点シフト
④進路意識向上の余地、進路指導と保護者との連携の仕方
⑤学校生活における規範意識の再確認

7 令和6年度の学校評価を活かした令和7年度の改善点

①進路意識の向上等をねらった、Teamsをより活用した生徒への情報提供の充実
②授業改善による授業の活性化からもたらされる学校生活充実度の上昇
③危機管理的な観点による職員集団の校内巡視の充実、校内ルールの全体での周知確認
④ホームページをより活用した保護者への情報発信
⑤スタディサプリの活用等、学習の習慣化に向けた取組の継続

令和6年度 県立宮古高等学校学校評価アンケート(自己評価)

【学校の教育目標】

憲法並びに教育基本法の定めに従い、民主社会の形成者にふさわしい知・徳・体の調和のとれた人材を育成する。

【本年度の努力目標】

- | | | |
|--------------------------------|---------------------|--------------------------|
| (1) 魅力ある学校・信頼される学校づくりの推進 | (2) 教職員の協力・協働体制の確立 | (3) 基本的生活習慣・家庭学習・自学自習の確立 |
| (4) 授業改善による学力向上授業 | (5) 進路指導の充実 | (6) 規範意識の育成と生徒支援の充実 |
| (7) 学習環境の整備 | (8) 国際化時代に対応する教育の推進 | (9) 外部機関等との連携の強化 |
| (10) 生徒・職員が生き生きと教育活動に取り組む環境の整備 | | |

【評価】 自己評価の欄(ABCD)に○を記入し、評価を踏まえて評価のまとめを書いてください。

A:達成できた(80%以上) B:ほぼ達成した(80%～50%程度) C:あまり達成できなかった(50%～30%程度) D:達成できていない(30%以下)

評価項目	具体的目標	具体的方策	自己評価(%)				評価のまとめ(成果・課題)
			A	B	C	D	
(1)教育目標	○自己教育力の育成	① 自ら学ぶ態度と自己実現の能力を育てる。	25	75	0	0	○本項目すべてにおいてAが増加した。 ○評価の在り方を捉え直すところから、一コマの授業を大切にしようとする機運がうかがえる。 ○職員個々の働きかけをもって、短期留学派遣等を含め、外に目を向ける生徒が増加した。 ○探究活動も着実に継続発展している。
	○知・徳・体のバランスのとれた教育	② 毎日の授業を大切に、家庭学習、部活動を奨励する。	43	55	2	0	
	○緑豊かな教育環境の整備	③ 緑豊かな環境を整備し、心豊かな生徒を育成する。	18	73	9	0	
	○アイデンティティと国際性	④ 姉妹校交流等を通し、郷土の歴史・文化を誇りにした国際協力の精神を育てる。	26	60	9	5	
(2)教育計画	○教育目標に沿った計画・立案を行う。	① 教育課程の整備、年間行事計画の策定・実施。	33	60	7	0	○委員会を中心に教育課程の整備を着実に実施した。
(3)教科・科目指導	○学ぶ楽しさを実感させ、学力の向上を図る。	① 説明、板書、発問等、各教諭の授業の充実(進学重点拠点校事業)	44	53	2	0	○本項目すべてにおいてAが増加した。 ○終年研対象者を中心に積極的に授業を公開する機運がうかがえ、授業を互見する機会が増えた。教科の枠をこえて授業参観するところがみられた。 ○授業改善事業の担当者や各種研究会参加者等を、教科全体で支えようとする雰囲気が生じ、ここから授業研究の活性化につながった。 ○家庭学習の習慣化については、Aが大きく増加したものの、教師の働きかけに結果が伴っていない現状がある。
		② 基礎・基本の確実な定着	40	56	5	0	
		③ 諸講座を実施し、学習の応用・発展を図る。	38	52	10	0	
		④ 個に応じた指導	28	67	5	0	
		⑤ 家庭学習の習慣化	21	51	28	0	
		⑥ 各種検定の奨励	24	64	12	0	
(4)総合的な探究の時間	○問題発見解決能力を育て、郷土に対する理解を深める。	① 全職員による取り組み	49	47	2	2	○本項目すべてにおいてAが増加、係の取組にHR担任等が応える形をもって、内容の継承発展につながっている。
		② 宮高力の向上	31	62	5	2	
		③ 郷土学習の推進	28	63	7	2	
		④ 地域との連携	26	56	16	2	
(5)特別活動	○自主性・自立性を確立し、豊かな心を育成する。	① 学級経営の充実	37	60	2	0	○部活の活性化は、Aが若干減少した。コロナ禍からの傾向である部活加入率の低下を懸念する声がある。
		② 生徒会活動の活性化	37	63	0	0	
		③ 部活動の活性化	33	53	14	0	
(6)生徒指導	○基本的生活習慣の確立	① 動き指導・マナー指導・身なり指導を徹底し、接遇を奨励する。	16	70	11	2	○全体的に改善傾向にあるものの、Aが若干減少している。一部に、規範意識の低下が課題としてみられる。 ○問題行動の未然防止としては、校内巡視の必要性を求める声があがり、対策中にある。
	○交通安全教育の推進	② 生命の大切さ・道路交通法の遵守の指導を徹底する。	26	70	5	0	
	○問題行動の未然防止	③ 学年ごとに生徒指導集会を毎月もって指導する。	38	48	12	2	
	○いじめ防止の指導を徹底し、カウンセリ	④ いじめ防止の指導を徹底し、カウンセリ	42	56	2	0	
	○人権教育の推進	⑤ 人権教育の推進	42	56	2	0	
(7)進路指導	○進路の早期決定	① 進路調査を活用し、三者面談、個別面談を実施する。	56	42	2	0	○本項目すべてにおいてAが増加、係の働きかけに職員集団が応える形をもって、職員の協働体制につながっている。 ○進路決定後の動意状況については、改善傾向にあるものの、依然として課題が残る。
	○進路決定率を高める	② 講座、進路相談を充実させ、対外模試を実施する。	40	57	2	0	
	○国公立大学への合格者数を増加させる	③ 進路検討会を持ち、個に応じた指導を充実させる。	27	54	20	0	
	○進路意識の高揚	④ 進路講演会や各種講座・進路の保護者説明会を実施する。	29	62	10	0	
(8)教育相談	○教育相談を積極的に推進する	① 個に応じた支援体制の充実を図る。	42	56	2	0	○教育相談係を中心とした支援体制が、職員にも認知されており、職員の協力体制にもつながっている。
		② スクールカウンセラー等外部機関との連携を図る。	47	51	2	0	
(9)健康・安全指導	○健康・安全で幸福な生活のあり方を考える	① 保健講話(健康教育)を実施する。	50	48	2	0	○生徒の保健室利用は少ないとはいえず、1名配置の養護教諭に依存する雰囲気が一部でみられた。保健室頼みにしない体制の見直しを要する。
		② 保健便りを随時、発行する。新型コロナ	49	51	0	0	
		③ 生徒の安全確保及び施設の安全管理に努める。	31	60	9	0	
(10)環境美化	○緑あふれる、美しい学園づくりに努める	① 教室を中心に学校内の美化に努める。	31	60	9	0	○学校周辺の清掃活動を教育活動として取り入れていくか、検討を要する。
		② 全体清掃を徹底する。	33	62	4	0	
		③ 学校周辺の清掃活動	17	54	28	0	
(11)研究・研修	○職員一人一人の教育的実践力及び学校の総合的な教育力を高める	① 外部講師を招聘した職員研修を推進する。	44	49	7	0	○本項目すべてにおいてAが大きく増加、係を中心に、協働体制をもって職員集団全体で活動することができた。 ○外部講師を招聘する機会が多く、日程調整にも柔軟に対応することができた。
		② 校内研修の充実を図る。	45	55	0	0	
		③ 授業研究の継続実施など授業改善に努める。	53	44	0	2	
(12)家庭・地域との連携	○開かれた学校づくり	① PTA活動の活性化を図る。	20	66	14	0	○本項目すべてにおいてAが増加した。特に、期間を設定して実施している三者面談は、家庭との連携を密にする機会として、上手く運用されている。
		② 授業参観・三者面談の活性化を図る。	59	39	2	0	
		③ 学校のHP等をととして生徒の活躍や学校の情報を公開し、地域に学校の理解を求めることにより連携を図る。	36	50	14	0	
(13)職場環境の形成	○働き方改革に於ける職場環境確認	① 同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができています	32	60	9	0	○本項目すべてにおいてAが増加しているものの、依然として個人裁量のゆとりある時間を確保できない職員は少なくない。働き方改革の進展を踏まえれば、取組のスクラップを真剣に検討する必要がある。
		② 個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができています	9	55	23	13	
		③ 一人ひとりの生徒との信頼関係を深めることができています	29	69	2	0	
		④ より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している	20	73	7	0	
		⑤ 心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができています	19	70	9	2	

令和6年度 県立宮古高等学校学校評価アンケート(学校関係者)

【学校の教育目標】

憲法並びに教育基本法の定めに従い、民主社会の形成者にふさわしい知・徳・体の調和のとれた人材を育成する。

【本年度の努力目標】

- | | |
|--------------------------------|---------------------|
| (1) 魅力ある学校・信頼される学校づくりの推進 | (2) 教職員の協力・協働体制の確立 |
| (3) 基本的な生活習慣・家庭学習・自学自習の確立 | (4) 授業改善による学力向上授業 |
| (5) 進路指導の充実 | (6) 規範意識の育成と生徒支援の充実 |
| (7) 学習環境の整備 | (8) 国際化時代に対応する教育の推進 |
| (9) 外部機関等との連携の強化 | |
| (10) 生徒・職員が生き生きと教育活動に取り組む環境の整備 | |

【評価】 評価の欄(ABCD)に○を記入し、課題・意見・要望等がございましたらお書きください。

A:達成できた(80%以上) B:ほぼ達成した(80%~50%程度) C:あまり達成できなかった(50%~30%程度) D:達成できていない(30%以下)

評価項目	具体的目標	具体的方策	自己評価				課題・意見・要望等
			A	B	C	D	
(1)教育目標	○自己教育力の育成	① 自ら学ぶ態度と自己実現の能力を育てる。	1	2			
	○知・徳・体のバランスのとれた教育	② 毎日の授業を大切にし、家庭学習、部活動を奨励する。	1	2			
	○緑豊かな教育環境の整備	③ 緑豊かな環境を整備し、心豊かな生徒を育成する。	1	2			
	○アイデンティティと国際性	④ 姉妹校交流等を通じ、郷土の歴史・文化を誇りにした国際協調の精神を育てる。	2	1			
(2)教育計画	○教育目標に沿った計画・立案を行う。	① 教育課程の整備、年間行事計画の策定・実施。	1	2			
(3)教科・科目指導	○学ぶ楽しさを実感させ、学力の向上を図る。	① 説明、板書、発問等、各教諭の授業の充実(進学重点拠点校事業)	1	2			
		② 基礎・基本の確実な定着	1	2			
		③ 諸講座を実施し、学習の応用・発展を図る。	1	2			
		④ 個に応じた指導	1	2			
		⑤ 家庭学習の習慣化	1	2			
		⑥ 各種検定の奨励	1	2			
(4)総合的な探究の時間	○問題発見解決能力を育て、郷土に対する理解を深める。	① 全職員による取り組み	1	2			
		② 宮高力の向上	1	2			
		③ 郷土学習の推進	1	2			
		④ 地域との連携	1	2			
(5)特別活動	○自主性・自立性を確立し、豊かな心を育成する。	① 学級経営の充実	1	2			
		② 生徒会活動の活性化	2	1			
		③ 部活動の活性化	1	2			
(6)生徒指導	○基本的な生活習慣の確立	① 勤怠指導・マナー指導・身なり指導を徹底し、挨拶を奨励する。	2	1			
	○交通安全教育の推進	② 生命の大切さ・道路交通法の遵守の指導を徹底する。	2	1			
	○問題行動の未然防止	③ 学年ごとに生徒指導集会を毎月もって指導する。	1	2			
	○人権教育の推進	④ いじめ防止の指導を徹底し、カウンセリングタイムを持って生徒指導にあたる。	1	2			
(7)進路指導	○進路の早期決定	① 進路調査を活用し、三者面談、個別面談を実施する。	2	1			
	○進路決定率を高める	② 講座、進路相談を充実させ、対外模試を実施する。	3				
	○国公立大学への合格者数を増加させる	③ 進路検討会を持ち、個に応じた指導を充実させる。	1	2			
	○進路意識の高揚	④ 進路講演会や各種講座・進路の保護者説明会を実施する。	2	1			
(8)教育相談	○教育相談を積極的に推進する	① 個に応じた支援体制の充実を図る。	1	2			
		② スクールカウンセラー等外部機関との連携を図る。	1	2			
(9)健康・安全指導	○健康・安全で幸福な生活のあり方を考える	① 保健講話(健康教育)を実施する。	1	2			
		② 保健便りを随時、発行する。新型コロナウイルス感染症予防に努める。	1	2			
		③ 生徒の安全確保及び施設の安全管理に努める。	1	2			
(10)環境美化	○緑あふれる、美しい学園づくりに努める	① 教室を中心に学校内の美化に努める。	1	2			
		② 全体清掃を徹底する。	2	1			
		③ 学校周辺の清掃活動	1	2			
(11)研究・研修	○職員一人一人の教育的実践力及び学校の総合的な教育力を高める	① 外部講師を招聘した職員研修を推進する。	1	2			
		② 校内研修の充実を図る。	1	2			
		③ 授業研究の継続実施など授業改善に努める。	1	2			
(12)家庭・地域との連携	○開かれた学校づくり	① PTA活動の活性化を図る。	1	2			
		② 授業参観・三者面談の活性化を図る。	2	1			
		③ 学校のHP等とおして生徒の活躍や学校の情報を公開し、地域に学校の理解を求めることにより連携を図る。	1	2			

令和6年度 保護者アンケート(全学年)

※ 下記の項目についてどのように考えますか。あてはまる欄(A B C D)に○印をつけて下さい。
 回答選択基準 : A そう思う(十分理解している) B だいたいそう思う(だいたい理解している)
 C あまりそうは思わない(あまり理解していない) D そう思わない(理解していない)
 ※ 判断できない項目は、○印をつけなくても結構です。

1. 学校での取り組みについて

(%)

項目	具 体 的 事 項	A	B	C	D
1 学校全般	① 生徒は学校生活を楽しんでいる	45	50	5	0
	② 教育活動において「文武両道」の成果が現れている	24	62	13	0
2 教科指導	① 授業では丁寧な指導を行っている	21	68	9	2
	② 進路面を考えた学習カリキュラムが行われている	21	60	16	3
3 進路指導	① 生徒一人ひとりの進路実現に向けた指導を行っている	22	53	23	1
	② 進路情報紙「ADELANTE」の発行など、情報提供に努めている	14	49	29	9
	③ 地域・大学・保護者等と連携した進路講話等を行っている	15	47	32	6
4 生徒指導	① 基本的生活習慣の定着指導を行っている	21	63	15	1
	② 服装容儀の指導を行っている	26	63	10	1
	③ いじめや暴力行為の未然防止に努めている	18	61	18	4
	④ 命の尊重、安全等についての指導を行っている	24	54	19	4
5 特別活動	① 生徒は部活動や生徒会活動等を行い充実している	35	54	9	2
	② 生徒は部活動や生徒会活動等に自主的・主体的に参加している	39	41	18	1
6 環境保健	① 校内は綺麗に清掃され、学習や部活動を行う環境が整っている	30	63	7	0
	② 学校はゴミを分別して捨てるように指導している	26	65	4	5
	③ 生徒の健康管理・安全管理の指導に努めている	25	62	6	6
7 教育相談	① 教育相談係や保健室など悩みを相談できる場所がある	23	57	17	2
	② スクールカウンセラーとの面談ができる	23	51	23	4
	③ 三者面談、その他を通して、担任と情報交換を行っている	28	59	10	4
8 家庭との連携	① 保護者からの意見や要望の検討が行われている	11	57	27	5
	② 学校行事やPTA行事は活発に行われている	15	61	20	4
	③ 学校からの便り・連絡は家に届いている	34	46	18	1

2. 家庭での取り組みについて

(A そうである B だいたいそうである C あまりそうではない D そうではない)

具 体 的 事 項	A	B	C	D
① 子どもには朝食をとらせて登校させている	82	11	7	0
② 子どもに弁当を持たせている	88	10	1	1
③ 子どもの服装・身なりや問題行動の防止に気をつけている	77	23	0	0
④ 子どもの家庭学習に取り組んでいる	46	43	11	0
⑤ 子どもの希望進路について話をしている	65	34	1	0

令和6年度 生徒アンケート(全学年)

【記入にあたって】

※ あてはまる欄(A B C D)に○印をつけて下さい。

回答選択基準 : A そう思う B だいたいそう思う C あまりそうは思わない D そう思わない

(%)

項目	具 体 的 事 項	A	B	C	D
1 学校全般	① 宮古高校へ入学して良かった	44	50	4	2
	② 学校生活は充実している	48	46	6	1
2 学習面	① 予習・復習をしている	12	41	34	13
	② 学習用具は持ち帰っている	48	34	10	8
	③ わからないことや疑問点は調べたり質問している	42	46	11	2
	④ 授業では分かりやすく、丁寧な指導が行なわれている	33	61	5	1
	⑤ 学習の評価は適正に行われている	34	56	7	3
3 進路指導	① 将来やりたい仕事が決まっている	31	32	22	15
	② 自分の進路目標に向かって努力している	32	41	22	5
	③ 進路相談などはしやすい	22	53	21	4
	④ 学校は進路情報を適切に提供している	38	55	7	0
4 生活面	① 友人、職員、訪問者等への挨拶をしている	57	39	4	0
	② 服装・身なりの決まりや校則を守っている	71	27	2	0
	③ 遅刻や欠課、欠席をしないようにしている	77	21	2	0
	④ 学校はいじめや暴力行為に対応している	46	50	3	1
	⑤ 学校は自他の生命など、安全についての指導を行っている	57	40	3	1
5 特別活動	① 自分の意見を発表する機会がある	54	42	3	1
	② 部活や行事など学校生活は楽しい	61	35	2	1
	③ 部活動や生徒会活動は活発である	52	43	3	1
6 環境保健	① 自ら進んで身のまわりを片付けている	54	29	12	4
	② ゴミを分別して捨てるようにしている	77	20	3	0
	③ 学校は清掃がきちんとされている	43	52	3	2
	④ 学習や部活動を行う環境は整っている	47	46	7	1
7 教育相談	① 悩みを相談できる友人や先生がいる	46	41	11	2
	② 今年度、いじめを受けたり、見たりしたことがない	77	19	2	2
	③ スクールカウンセラーとの面談ができることを知っている	59	20	12	9
	④ 今年度、体罰を受けたり、見たりしたことがない	82	16	1	2
8 家庭・地域との連携	① 宮古島や各地域での行事・活動に参加したい	32	45	18	5
	② 学校での出来事が家庭での話題になったりする	49	35	13	3
	③ 学校からの便り・連絡等は家に届けている	43	39	13	4